



SDGs 未来都市

埼玉県

プラスチック資源循環

<埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム>の取組

埼玉県 環境部 資源循環推進課
課長 尾崎 範子

令和4年4月26日 DNP P&Iセミナー

第2回環境セミナー 循環型社会の実現に向けて～資源循環の取組～

1 背景

プラスチックを取り巻く国内外の状況（海洋プラスチック問題、気候変動問題等）

2 目的

プラスチック廃棄物の排出抑制とプラスチック資源の循環利用の促進

3 取組概要

- ・ 出口戦略を見据えた循環利用モデルの構築
- ・ 分別・回収方法の検証
- ・ ライフスタイルの変革（意識啓発）

産官民が連携したプラットフォームを結成

令和3年6月設立

企業・業界団体

- ① 循環利用モデルの構築
- ② リサイクル製品の需要喚起

埼玉県プラスチック資源 の持続可能な利用促進 プラットフォーム

- ・ 会員の事例発表やプラ新法解説
- ・ ワーキング・グループによる検討など

ワーキング・グループ

日用品

アパレル

...

市町村

- ① プラ廃棄物の排出抑制
- ② 分別・回収方法の検証

消費者団体

消費者の意識変革

- ・ 令和4年4月現在会員数：111者
(企業77、業界・消費者団体9、市町村等25)
- ・ 会費無料、随時入会可能
* 個人は対象外

アドバイザー

有識者

オブザーバー

環境省

助言・
情報提供

埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム

会員一覧（111者）

<企業会員（77者）>

味の素AGF株式会社 アスクル株式会社 株式会社あらた 株式会社アルビオン イオンモール株式会社
伊田テクノス株式会社 石塚化学産業株式会社 株式会社岩井化成 ウォータースタンド株式会社
ウム・ヴェルト株式会社 株式会社エコ計画 株式会社エコスファクトリー 株式会社エコバンク
エスビー食品株式会社 東松山工場 株式会社エム・エル・エス オリックス資源循環株式会社 株式会社カインズ
花王株式会社 株式会社カネカ GreenPlanet推進部 カネパッケージ株式会社 株式会社亀屋
川上産業株式会社 北関東営業所 株式会社環境サービス 株式会社菊池化成 株式会社きぬのいえ
株式会社木下フレンド キムラセンイ株式会社 協和産業株式会社 栗田工業株式会社 株式会社警備ログ
株式会社ケーヨー 株式会社甲商 株式会社光和製袋 彩源株式会社 株式会社埼玉りそな銀行
サニーポット株式会社 株式会社サムズ サラヤ株式会社 サンケン電気株式会社 株式会社ジモティー
有限会社昭和メタル シンテゴンテクノロジー株式会社 株式会社関商店 株式会社セブン&アイ・フードシステムズ
株式会社セブン-イレブン・ジャパン 株式会社大誠樹脂 大成ラミック株式会社 株式会社ダイエー
大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部 舘野商事株式会社 株式会社中央化学
ツネイシカムテックス株式会社 株式会社TBM 東武商事株式会社
凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部 マーケティング事業部 トルムスイニシエイト株式会社
中村化成工業株式会社 中村産業株式会社 合同会社HAYAMI 株式会社パルコ 浦和店

埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム

会員一覧（111者）

株式会社ヒガシヤデリカ東松山工場 平田精工ジャパン株式会社
藤田ゼロファン産業株式会社 株式会社プロトリーフ 株式会社平泉洋行 株式会社平和化学工業所
株式会社ホーライ 真韻株式会社 前田道路株式会社 株式会社丸栄商店 株式会社武蔵野銀行
株式会社ユーアイ社 ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 ライオン株式会社
株式会社リテラ リバーホールディングス株式会社 和光紙器株式会社

<消費者・業界団体会員（9者）>

朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会 エコ鶴市民の会 埼玉エコステージ研究会
一般社団法人埼玉県環境産業振興協会 埼玉県地域婦人会連合会 新日本婦人の会埼玉県本部
一般社団法人NIPPON紙おむつリサイクル推進協会 ふじみ野オープン交流会
NPO法人プラスチックマテリアルリサイクル推進協議会

<市町村等会員（25者）>

さいたま市 川越市 熊谷市 川口市 所沢市 加須市 東松山市 春日部市 狭山市 羽生市
深谷市 上尾市 志木市 新座市 桶川市 久喜市 富士見市 幸手市 鶴ヶ島市 ふじみ野市
伊奈町 上里町 寄居町 大里広域市町村圏組合 志木地区衛生組合

<埼玉県>

環境科学国際センター 産業技術総合センター 産業廃棄物指導課 資源循環推進課（事務局）

プラットフォームで検討・実施した取組

< 令和3年度の取組 >

①市町村の分別収集支援 (分別・回収方法の検証)

- 桶川市、上尾市、伊奈町の協力のもと、家庭から出るプラスチックごみの現況調査や循環利用するための効率的な回収方法を検証
- 学校・役場などで、会員からの意向を踏まえ選定した品目（クリアファイル等9品目）を回収（7～12月）



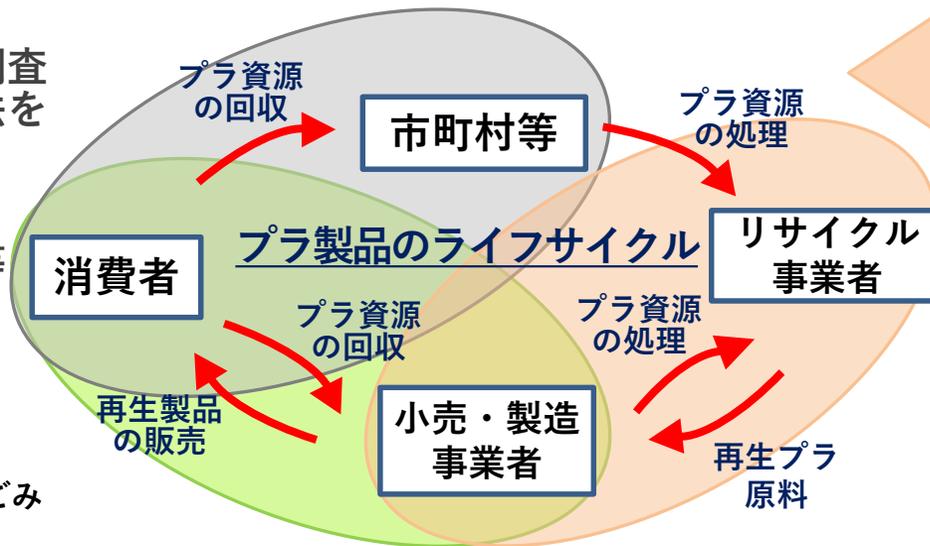
回収されたプラスチックごみ

②ライフスタイルの変革 (若者への意識啓発)

- 若者が多く利用するパルコと共同で衣類回収等のキャンペーンを展開（10月）
- リサイクル事業者（川上産業）に製作を委託したプラリサイクル動画を授業で視聴後、校内に回収ボックスを設置して、梱包材等を回収（11月～）



浦和パルコでのイベント



③新たな循環利用モデルの構築 に向けた実証実験

- 製造業者（シャンプーメーカー等）や小売・卸売業者（ケーヨー、あらた）、リサイクル事業者（エコバンク、川上産業、キムラセンイ）と連携し、プラスチックの店頭回収を実施（9月～）
- 回収した梱包材や容器等のプラスチック製品は、ごみ袋やプランター等にリサイクル
- 回収した衣類は、古着としてリユース又はフェルト等にリサイクル

プラットフォームで検討・実施した取組

①市町村の分別収集支援（分別・回収方法の検証）

【第Ⅰ期】（令和3年7～8月）

桶川市の協力のもと、家庭から排出されるプラごみの状況について調査

（ごみステーション（集積所）回収・拠点回収【有人】）

- プラごみの日にごみステーションへ出されたごみは、ほぼ汚れてしまっていた
- 指定した拠点へプラごみの持参を依頼した調査では粗大ごみが多かった



ごみステーション回収で集められた緩衝材



拠点回収で集まったプラごみ

【第Ⅱ期】（令和3年11～12月）

上尾市・伊奈町の協力のもと、市町村が実際に導入しやすい回収方法を調査

（学校回収・拠点回収【無人】）

- 企業会員から要望のあったプラ品目（クリアファイル、緩衝材等）を回収
- 緩衝材等をポリ袋の原料として再生利用
- 回収箱（無人）で約1か月間回収したが、プラ以外のごみの混入はほぼなかった



上尾市立大石北小学校での回収の様子



伊奈町ふれあいセンターに設置した回収箱

プラットフォームで検討・実施した取組

② ライフスタイルの変革（若者への意識啓発）

【ファッションリユース&リサイクル@浦和パルコ】

企業会員及び県の連携により、衣類（素材を問わず）の回収キャンペーンを実施（令和3年10月）

- <浦和パルコ> 消費者からの衣類回収、食事券の提供
- <キムラセンイ> 回収した衣類の購入、リユース・リサイクル
- <川上産業> 回収用のボックス製造、使用済袋の再製品化
- <埼玉県> 回収ボックス・袋の調達、人員提供

※ 回収ボックス・袋はリサイクル資源で製造
回収時に使用したポリ袋は再度リサイクル資源として使用

- 5日間で1,301人から約1.7トン回収し、全量リユース・リサイクル
- 一般的なごみステーション回収と比べ、極めて品質の高い衣類が回収され、リユースに繋がる品を多く得られた



プラットフォームで検討・実施した取組

③ 新たな循環利用モデルの構築に向けた実証実験

【店頭でのプラスチック資源回収】

企業会員（ケーヨー）の協力を得て、ホームセンター等で多く販売される製品の店頭回収を実施（令和3年11月）

【回収品目】

衣類ケース、ポリタンク、コンテナ、ゴミ箱、プランター、洗面器（おけ）、バケツ、シャンプー等ボトル・詰め替え容器

- 3日間で52人から約460kgを回収し、全量を苗トレイ等にリサイクル
- ケーヨーでは、お客様の反応も良く、今後も引き続き回収に協力予定



店頭回収で集まったプラ資源



彩の国
埼玉県

埼玉県から
ケーヨーデイツー上尾店のお客様へお願い

「プラスチック資源回収」のご案内

埼玉県の実証事業にご協力ください！

埼玉県では「プラスチック製品の回収と新たなリサイクル」の仕組みづくりに向けた検討の一環として、今回、ケーヨーデイツー上尾店駐車場特設会場にて、ご家庭から出るプラスチック資源を、以下のとおり回収いたします。

■回収日時

令和3年11月19日(金)～11月21日(日)

10:00～16:00（雨天実施）

■回収するプラスチック資源（以下の8種類限定です。）



衣類ケース（フタ式、引出式など）
キャストや金属の取っ手は外してお持ちください。



ポリタンク（灯油缶、水缶）
中を空にして水洗いの上乾かしてお持ちください。



収穫用コンテナ、RVボックス、ビールケース



ゴミ箱、ペール



プランター



洗面器、手おけ、風呂いす、脱衣かご



バケツ



シャンプー等のボトル・詰め替え容器
容器の中を洗ってお持ちください。

注意事項

- ・回収対象のプラスチック資源以外は回収できません。
- ・テープやラベル、金属等は、剥がす、または取り除いてお持ちください。汚れている場合は汚れを落としてお持ちください。
- ・濡れている場合は乾かしてからお持ちください。
- ・回収できない状態のものはお持ち帰りいただきます。
- ・多段式衣装ケースや大きいゴミ箱など粗大ごみに該当するものでも、上記回収対象プラスチック資源であれば無料でお引き取りします。
- ・回収時にアンケートをお願いする場合がございます。

プラットフォームにおける今後の展開

- 家庭から排出されるごみのうち、マテリアルリサイクルに適した品目の調査・検討及び地域・実施店舗数を拡大して分別・回収を行い、データを積み重ねて、負担の少ない回収モデルを発信
- 会員によるアライアンス（ワーキング・グループ）により、商品化に向けた課題を解決し、一部モデル製品化
- 会員と連携し、リサイクルへの機運醸成と需要喚起を促進

ワーキング・グループの設立イメージ

ワーキング・グループ設立計画書を提出



- ・計画書（任意様式）を事務局へ提出

（事務局によるマッチング）



- ・事務局による計画書提出会員とのマッチング

ワーキング・グループ設立



ワーキング・グループ運営

- ・ワーキング・グループ会員によるアライアンスの締結等
- ・事例発表会等における検討内容の報告（可能な範囲で）
- ・事務局への定期報告
- ・必要に応じ、アドバイザーによる助言

プラットフォームの年次計画

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度以降
取組概要	プラットフォーム結成・運営			
				
	分別・回収方法の検証 ワーキング・グループによる製品開発等の検討			
				
	店頭・市町村回収モデル実証 再生プラ製品化			
				
意識啓発キャンペーン実施				
				

プラットフォーム入会方法等

埼玉県プラスチック

検索

埼玉県ホームページにて、プラットフォームの規約や入会申込書、会員名簿、総会等の活動内容を公開しています。

埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム

埼玉県では、プラスチック廃棄物の排出抑制とプラスチック資源の循環利用を促進するため、プラスチック資源の循環利用・減量化に取り組む事業者、市町村、消費者団体等で構成する「埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム」を設置しました。本プラットフォームでは、プラスチック資源の循環利用に関する講演会や研修会、交流会のほか、希望する会員により設置するワーキング・グループにおいてプラスチック資源の持続可能な利用モデルの構築に向けた検討を行います。

皆さまの積極的な御参加をお待ちしています。

- [「埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム」規約 \(PDF: 158KB\)](#)
- [「埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム」御案内 \(PDF: 362KB\)](#)

お問い合わせ先

埼玉県 環境部 資源循環推進課

電話：048-830-3108

Eメールアドレス：a3100-02@pref.saitama.lg.jp



ありがとうございました。

埼玉県のマスコット「コバトン（左）」と「さいたまっち（右）」

